

kikusui

薄付け仕上塗材〈砂壁状模様〉可とう形外装薄塗材E

キクスイ 弾性リシンシリーズ



F☆☆☆☆

キクスイ 弾性リシンシリーズ

模様見本

キクスイ弾性リシンSi
キクスイ弾性リシン



カラーNo. KN045D

キクスイ弾性リシン 荒目



カラーNo. KN045D

キクスイ弾性リシン 細目



カラーNo. KN045D

カラーバリエーション



カラーNo. KN061D



カラーNo. KN061B



※ カラーNo. KN061F



カラーNo. KN001D



カラーNo. KN001C



カラーNo. KN001E



カラーNo. KN021D



カラーNo. KN021E



※ カラーNo. KN021F



カラーNo. KN013D



カラーNo. KN015C



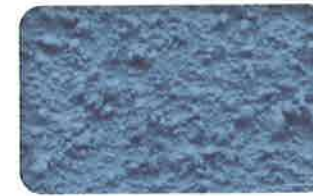
カラーNo. KN015B



カラーNo. KM065D



カラーNo. KM066B



※ カラーNo. KM066E



カラーNo. KN024D



カラーNo. KN024B



カラーNo. KN024A



カラーNo. KN023D



カラーNo. KN023C



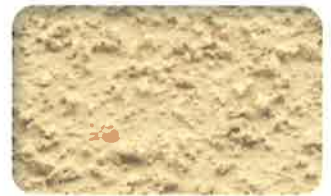
カラーNo. KN023E



カラーNo. KN027C



カラーNo. KN027B



カラーNo. KN027A



カラーNo. KM086D



カラーNo. KM086B



※ カラーNo. KM086G



カラーNo. KN053C



※ カラーNo. KN053E



※ カラーNo. KN053G



カラーNo. KN038B



※ カラーNo. KN038E



※ カラーNo. KN038G

(注) 1. 印刷のため、色や調は多少異なる場合があります。
 実際の色や調は、見本板でご確認ください。
 2. 色により、耐性に差がある場合もございますので、予めご了承ください。

3. ※印は濃色のため、材料費が割高になります。
 4. カラーNo.は弊社管理No.です。
 5. 色調の有効期限は2023年8月です。

製品一覧

一般名称	製品名	JIS	ホルムアルデヒド放散等級 F☆☆☆☆ (NSK自主表示登録番号)
薄付け仕上塗材	キクスイ 弾性リシン	JIS A 6909	0409023
	キクスイ 弾性リシン Si	—	0305354
可とう形外装薄塗材E	キクスイ 弾性リシン 荒目	—	0409024
	キクスイ 弾性リシン 細目	—	0409025

標準施工仕様

仕上げ	工程	材料・割合	施工用具・条件	塗回数	間隔時間(23℃)	所要量
各種共通	素地調整	ゴミ、未硬化セメント粉末、砂塵、油脂などの付着物をワイヤーブラシ、かわすき、サンドペーパー、ウエスなどで除去し、乾燥した清浄な面とする。				
	下塗り	キクスイ プライマースーパーE 主材:15kg 無希釈	はけ、ウールローラー、エアレススプレー等	1	3以上	80~150m ² /15kg 0.10~0.19kg/m ²
キクスイ弾性リシン	上塗り	キクスイ 弾性リシン 主材:20kg 清 水:0~0.8L	リシガン 口径:5~6mm 吹圧:0.5~0.6MPa	2	工程内 3以上	14~16m ² /20kg 1.2~1.4kg/m ²
キクスイ弾性リシンSi	上塗り	キクスイ 弾性リシンSi 主材:20kg 清 水:0~0.8L	リシガン 口径:5~6mm 吹圧:0.5~0.6MPa	2	工程内 3以上	14~16m ² /20kg 1.2~1.4kg/m ²
キクスイ弾性リシン 荒目	上塗り	キクスイ 弾性リシン 荒目 主材:18kg 清 水:0~0.5L	リシガン 口径:6~8mm 吹圧:0.5~0.6MPa	2	工程内 3以上	10~12m ² /18kg 1.5~1.8kg/m ²
キクスイ弾性リシン 細目	上塗り	キクスイ 弾性リシン 細目 主材:20kg 清 水:0.5~1.0L	リシガン 口径:4~5mm 吹圧:0.5~0.6MPa	2	工程内 3以上	16~20m ² /20kg 1.0~1.2kg/m ²

(注)1. 上記の各数値は、全て標準のものです。施工方法・施工条件により各々多少の幅を生じることがあります。

公共建築工事標準仕様書 (平成 28 年版)

種類	呼び名	仕上げの形状	工法	所要量 (kg/m ²)	塗回数
薄付け仕上塗材	可とう形外装薄塗材E	砂壁状	吹付け	下塗材:0.1以上	1
				主材:1.2以上	2

※下地調整については、別途公共建築工事標準仕様書を参照して下さい。

●詳しくは最寄りの営業所へお問い合わせください。

適応下地

■直接施工できる下地
コンクリート・モルタル等

■下地調整を要する下地 ※下地調整費は別途加算してください。

軽量気泡コンクリート(ALC)は「キクスイファンデ」等
相面下地は、「BR#15」等で下地調整を行ってください。

※シーリング材の可塑剤による汚染が懸念される場合は、別途シーラーを入れることをお奨めします。

荷 姿

キクスイ 弾性リシン NET20kg/缶入
 キクスイ 弾性リシン Si NET20kg/缶入
 キクスイ 弾性リシン 荒目 NET18kg/缶入
 キクスイ 弾性リシン 細目 NET20kg/缶入

注 意 事 項 (仕上塗材)

【施工上の注意事項】

- 下地がコンクリート、モルタルの場合は、下地の乾燥を十分行ない、含水率10%以下、pH10以下で施工してください。
- かびや藻が発生している場合は、塩素系漂白剤(希釈1:5)「K5クリナー」などで殺菌洗浄を行ってください。
- ヤニ、シミが著しい場合は水洗後、下塗りとして水系ヤニ、シミ止め白色下塗材「シミナイト」を使用してヤニ、シミ止めを行った後上塗りを行ってください。
- コンクリート下地の旧塗膜の劣化が著しい場合や吸込みの著しい場合は、劣化塗膜を除去した後に、「キクスイ浸透性プライマーE」や「キクスイSP(パワーシーラー)」を使用してください。
- 吊り成形セメント板、GRC板、ウレタン板などには、下塗りとして「キクスイSP(パワーシーラー)」や「キクスイプライマーEPW」を使用してください。
- ALCやコンクリートなどで裏、段差などがある場合は、セメント系下地調整塗材BR#15等で処理してください。
- 無機塗料、特殊下地の塗装及び特殊塗料の場合は、最寄りの弊社営業所にご相談ください。
- 合成皮革、ゴム、ウレタン、塩化ビニル製品などは、塗膜との接着を避けてください。可塑剤のブリードによる粘着が起きる場合があります。
- 蒸気や水の影響、下地の状態、塗装時の環境など、いくつかの条件が重なると塗材の変形、塗膜の剥離、膨れが生じることがあります。ご採用に当たっては最寄りの営業所にご相談ください。
- 大きな動きが予想される部位への塗装は、塗膜がひび割れたり剥離する可能性があります。
- 下地が弾性系塗料の場合には、弾性系上塗材を使用してください。
- 塗膜の乾燥過程で水分の影響を受けた場合、(高湿度、結露、降雨等)塗膜表面が白化する場合があります。施工時の気温が5℃以下、湿度85%以上又は結露の発生が考えられるなど、水分の影響を受ける可能性がある場合は、施工を行わないでください。また、低温又は高湿度時は、乾燥が遅くなりますので施工を行わないでください。
- 外部の施工で降雪、降雪のおそれ、または積雪の可能性がある場合は施工を行わないでください。
- 地すべりが発生するような部位、場所への塗装はしないでください。
- 直射日光下で施工する場合は、適切な養生をし、下地表面の急激な温度上昇を防止してください。
- 施工時は換気を十分にしてください。
- 施工時は飛散防止として養生は十分にしてください。
- 施工面とその周辺(車や付帯設備を含む)に汚染や損傷を与えないように注意し、必要に応じて、あらかじめ施工箇所を適切な養生を行ってください。
- 乾燥途中に降雨等が予想される場合は、シート養生を行うなどして、塗膜表面に水分が当たらないようにしてください。塗料は均一にミキサーで攪拌してから使用してください。
- 高反応硬化剤の場合は、主材と硬化剤を指定の比率で混合し、ミキサーで混ぜ合わせて使用してください。特に小分けで使用する場合は、計量器を用いて行ってください。混ぜ合わせ後の材料は、可塑剤内に切り捨ててください。また、可塑剤は温度、計量などの条件により変わりますので、注意してください。
- 材料の希釈量は所定の量より、希釈の所要量を守り事前の試験塗りなどで決定してください。希釈の過多、不足は付着率や強度、不足、仕上がりの原因となります。
- 各種施工仕様に記載の所要量及び間隔時間を守って施工し、適正な塗分量を確保してください。
- 色、模様、形状、艶、塗回数、希釈量などの風合いにより実際のつやと異なって見える場合があります。また、刷毛・ローラー塗装時の塗膜の厚みで、色相や艶が異なります。特に艶調整品は、被塗物の形状、素地の状態、艶、色相、塗り重ね乾燥時間等により、実際の艶と若干違って見える場合がありますので、試し塗りにの上、本施工時行ってください。
- 既存塗膜の剥離箇所は、既存塗膜の塗装仕様でパターン合わせを行ってください。
- ローラー塗りの場合は、ローラーは同一方向に揃えるように仕掛けてください。ローラー目により、色相や仕上がりが異なって見えることがあります。
- 橋など補修塗料が必要な場合がありますので、補修用に使用塗料の控えを取っておき、同一塗料、同ロット、同一方法で補修してください。
- 他の材料と混ぜて使用しないでください。
- 水性塗料には動物毛の刷毛は固まり塗料に支障が出ますので仕用の刷毛を使用してください。
- 上塗りのローラー塗装において、雑毛のローラーで水系塗料を塗し、泡が発生した場合は、糸毛のローラーを使用してください。
- 使用後は刷毛やローラーなどは十分に洗浄してください。
- 溶剤系の製品を取り扱う場合は、特に火気に注意し、消火方法及び労働安全衛生法等を厳守してください。
- 目や顔に塗料がはけ、ローラーでの塗装はムラが出やすくなります。スプレー塗装をお勧めします。

【安全衛生上の注意事項】

- 製品の取り扱いについては一般的な注意事項の詳細はSDS(安全データシート:JISMSDS)を参照してください。
- 取扱後は手洗い、うがいを十分にしてください。
- 適切な保護手袋、保護眼鏡、防塵、防護マスクなどを着用してください。
- 火花を発生しない工具を使用してください。
- 屋外または換気の良い場所でのみとし、火気厳禁にしてください。
- 必要な時間以外は、環境への放出を避けてください。
- 製品の混ぜ合わせは、防塵型ミキサーにて行ってください。また、必ずアースを取ってください。
- 火災時には、炭酸ガス、泡または粉末消火器を用いてください。
- 目に入った時は直ぐに水で洗い、速やかに医師の診断を受けてください。
- 誤って飲み込んだ場合は速やかに医師の診断を受けてください。
- エボシ帽、防護服の材料は、皮膚にかぶれを引き起こす恐れがあります。皮膚に付着しないよう特に注意してください。
- 皮膚についた場合は、多量の水と石鹸で洗ってください。皮膚が腫れたり発疹が生じた場合は、医師の診断を受けてください。
- 樹上、排気物等を吸い込んで気分が悪くなった場合は、安静にし、必要に応じて医師の診断を受けてください。
- 使用後保管する際は密閉状態で40℃以上の場所では保管しないでください。できる限り早く使用してください。
- 日光から直射し、換気の良い場所で保管してください。
- 保管場所、取り扱い場所とその周辺には、塗料、乾燥中に、熱、火花、高温体のような発火源を遠ざけ火気厳禁とってください。取扱いは、法令に沿って保管を行い、特に乾燥中は蒸発の面積が広くなるため、短期間で引火性の高い発火が発生します。注意してください。
- 合成樹脂製の電気絶縁体の床で材料の保管や取り扱いをしないでください。また、導電靴や帯電防止の服を着用してください。
- 子供の手の届かない所に保管してください。
- 塗料や塗料の付いた布などを処分する際は、法令に従って産業廃棄物として処理してください。
- 塗料、塗料器具を洗浄した汚水、塗料の付いた布などはそのまま地面や排水溝に流すと環境に悪影響を及ぼすおそれがありますので、関連法規を厳守の上、産業廃棄物として処理してください。

菊水化学工業株式会社

本社/名古屋市中区錦2丁目19番25号 日本生命広小路ビル
 ☎052-300-2222(中)

ホームページ <http://www.kikusui-chem.co.jp/>



仙台支店 ☎022-706-5710
 東京支店 ☎03-3981-2500
 名古屋支店 ☎0568-69-5200

関西支店 ☎06-7668-5320
 福岡支店 ☎092-935-4610